市民との意見交換会（井戸端スタイル）意見等一覧

		開催日	令和６年１月１４日（ 日 ）	開催場所	氷上町大谷公民館
		意見交換したテーマ	・二部落（三原・大谷）にまたがって行う治水対策 ・道路整備（グリーンベルト、特１９号線信号設置、横断歩道、白線） ・河川整備（葛野川～東山排水未整備区間）		
NO	所管委員会	意見交換の内容			
		項目	市民からの質疑（応答）及び意見		
以下のご意見については、その場で回答済、あるいは各議員に周知しました。					
1	民生産建	防災	質：治水対策は、一部分整備の補助金で対応するのではなく、災害対策の視点を持ち、抜本的な解決策として災害対策事業として検討してほしい。 答：近年の豪雨で不安を感じている方からの類似の相談は多い。本日のご意見も含めて、現状を認識していきたい。		
2	民生産建	地域づくり	近隣自治会の合意が得られなければ改善が進まないケースがある。合意形成のハードルの高さを感じる。合意形成を図りやすい仕組づくりができないか。		
3	民生産建	補助金	以前、隣接する自治会と連名で要望書を提出したが、用排水路の改修に使用できる「丹波市単独土地改良事業補助金」が活用できる、との回答があった。この補助率は50%であり、自治会の負担も大きい。補助率を引き上げる等、検討できないか。		
4	民生産建	道路	特11号線市道の道路脇の白線が消えている。申請したが、予算上の理由や優先順位が低いのか、年送りになっている。		
5	民生産建	道路	質：特19号線の整備が行われているが、整備されたら交通量も増加する。交通事故も発生しており、近隣の小学校の通学路にもなっているため2つある交差点のどちらかに信号機を設置してほしい。 答：信号設置については、警察と県で協議され、年間限られた台数の設置と聞いている。		
6	民生産建	河川	質：市が管理する河川の下流部分が未整備状態である。要望を出しているが、保留状態である。大雨で水路は崩れる恐れもあり危険性が高い。 答：自治会役員で引継をして、要望は年度ごとに提出してはどうか。		
			＊豪雨により溢れた水路を参加者で現場確認をして、各々意見交換を行った。		